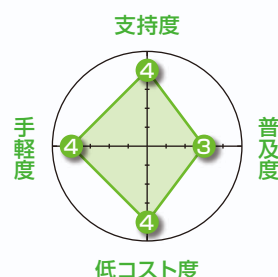


入居者に支持される設備 いいね!

ニーズを把握できれば、家賃維持や増額ができる「設備」。今回は、安価で導入でき、しかも後付け可能なオートロックエントランスをご紹介します。2014年に「IMオートロック Descartesデカルト」を発売したアイエム(株)の高井さんに、商品の特征などを伺いました。



◆安い・早い・後付け可能◆

この商品の特征はずばり、安い(基本キット料金:40万円(税別)~)・後付け可能・スピーディ(工事が1日で完了)という点です。

オートロックの有無が入居者のチェック項目の1つになってきているようで、昨年から受注が増えてきています。物件広告や内見時にアナウンスできますし、実際に導入した家主様(全15戸の物件所有)からも、「問題ないし、いいですよ」と好評です。

使用方法は、入居者が入室する場合は、エントランス付近のカードリーダーで、物件専用カードをかざし、または暗証番号で入室します。来訪者が入室する場合は、

- ①エントランス前で携帯電話で入居者に連絡します。
- ②入居者は「オートロック解除リモコン」のスイッチを押します。※「オートロック解除リモコン」は、本システム導入後、全室の入居者に事前に渡します。ホルダーにセットして、粘着テープで取り付けます(写真参照)。
- ③オートロックが解除され、入室できます。

このシステムはインターフォンが付きませんので、例えば、部外者が「宅急便です」と嘘をついて入室できないメリットがあります。

工事内容は、制御盤・カードリーダー・ロックの設置です。物件によっては、例えば3・4階建て以上で敷地がとても広い場合、リモコンの電波が届かないことがありますので、2階の廊下等に中継器を設置する場合があります。

◆導入にあたっての注意点◆

まず、①オートロックシステムの設置場所近くに100Vの電源が必要です。②郵便配達、宅急便、定期清掃等出入り業者に対しては、オーナー様が各エリアの担当者と覚書等を交わして、業者用の暗証番号を登録する必要があります。



システム設置例



オートロック解除リモコン取付例



中継器設置例